

# 校内研究通信

令和4年1月26日  
福生市立福生第六小学校  
研究推進部通信 Vol. 4

## 研究主題

学びに向かう力を育むための指導の在り方を考える  
～「児童・生徒の学力向上を図るための調査」を通して～

昨年度の研究アンケートで、児童の粘り強さや、最後まであきらめずに取り組むことに課題があった。そのため、資質・能力の三観点のうち、「主体的に学習に取り組む態度」の向上を図るために、「児童・生徒の学力向上を図るための調査」を生かしながら研究を進めることとした。

1月26日（水）

## 第四回研究授業

### 国語科研究グループ

授業者 中島 恵大 主幹教諭

教科名 国語科

単元名 「ウナギのなぞを追って」（国語・四下 光村図書）

会場 4年1組教室

※感染症対策のため、分科会の先生のみ会場に入ります。

他の先生方は Teams で授業を参観します。

## 当日の流れ

### 特別時程

12:45 給食終了・下校開始

13:00 完全下校

※授業開始時刻に間に合うよう、速やかな児童の完全下校に御協力お願いします。

13:15～13:20 学習の準備

13:20～14:05 研究授業

14:15 4年1組下校

14:20～14:45 協議会（Teams）

学校長 挨拶

分科会提案・自評

研究協議

14:45～15:30 指導講評（Teams）

講師 福生市教育委員会教育部

指導主事 古川 裕平 先生

謝辞 副校長

### 協議の視点

○「興味を中心」を予め設定し、それを選ばせて考えさせたことが、児童にとって、意欲をもって学習することや、課題を正しく把握し、適切に解決を図ることにつながっていたか。

○3～4人のグループを作成し、対話することで自分と友達の考えを比較し、理解を深めることにつながっていたか。

○グループでの対話が、児童各自の当初の考えを深めたり改善させたりすることにつながっていたか。

## 授業内容・協議会について

教科 国語科 単元名「ウナギのなぞを追って」(国語・四下 光村図書)

本時の目標 自分の興味を中心に沿って、大事なことを書き出しながら文章を読むことができる。

本時のめあて 自分の「きょうみの中心」に沿って、大事な言葉や文を書き出そう。

### 目指す児童像

「自らの学習を調整しながら、粘り強く、課題に取り組むことができる子」

### 目指す児童像に迫る手だて

- ① 児童の興味に基づいたテーマを予め設定し、教室に常時掲示する。
  - ・読み取りの際に、掲示を確認しながら、どのテーマに関連する内容か随時考えさせる。そうすることで、児童は自分の「興味を中心」を常に明確にイメージしながら読み取り、要約することができる。
- ② グループでの活動を行う。
  - ・「興味を中心」ごとのグループを作成し、そこで自分の考えを伝え、友達の考えを聞くことで、共通点や相違点を考え理解しようとするすることができる。
- ③ グループでの活動後に、自分の学びの振り返りを行う。
  - ・グループでの対話を通して学んだことを踏まえ、友達の考えを基に、自分の考えを見つめ直し、深めたり改善したりしようとするすることができる。

\*\*協議について\*\*

\*\*短冊は3色あります。

グループでなく、各自で書いてください。14:15頃までに記入してください。

青・・・よかった点

赤・・・改善点

黄・・・質問等を書いてください。